

型 番 AU43323L・AU43324L

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

! 警 告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お客様ご相談窓口のご案内							
修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、ますお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。 (ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にならない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)							
製品・お取り扱いなどのご相談は		修理・アフターサービスのお問い合わせは					
お客様相談室		サービスセンター					
ナビダイヤル (全国共通番号)	電話	0570-055123	ナビダイヤル (全国共通番号)	電話	0570-015123	FAX	0570-025123
受付時間：9:00～17:00 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)		受付時間：9:00～17:00 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)					
●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。							
愛情点検		★長年ご使用の照明器具の点検を！					
	ご使用の際 このような 症状は ありませんか	●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。 ●プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。 ●プラグ、コード、本体などが異常に熱い。 ●こげくさい臭いがする。 ●コードに傷や痛みが見られる。 ●グローブ、セードなどにひびが見られる。	→	ご使用 中止	故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、必ず販売店に点検、修理を依頼してください。		
	●照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。 点検・交換をおすすめします。(周囲温度30°C、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合) ●周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。 ●3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。						
コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。					
<保証について> 1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 2. 保証期間は製品お買い上げより1年間です。但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。 3. グローブ灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2) お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電圧(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合 (6) 法令、取扱説明書で要求される保証点検を行わないことによる故障及び損傷 (7) 保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。							
保証期間(お引き渡し日より)本体：1年間 LED電源/モジュール/LED電球：3年間		※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。 従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店またはコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。					
お買上年月日		※This warranty is valid only in Japan.					
お客様	お名前	取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号					
お客様	ご住所						
	電話	()					

■定格

型番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AU43323L・AU43324L	AC100V	0.12A	6.7W	LED

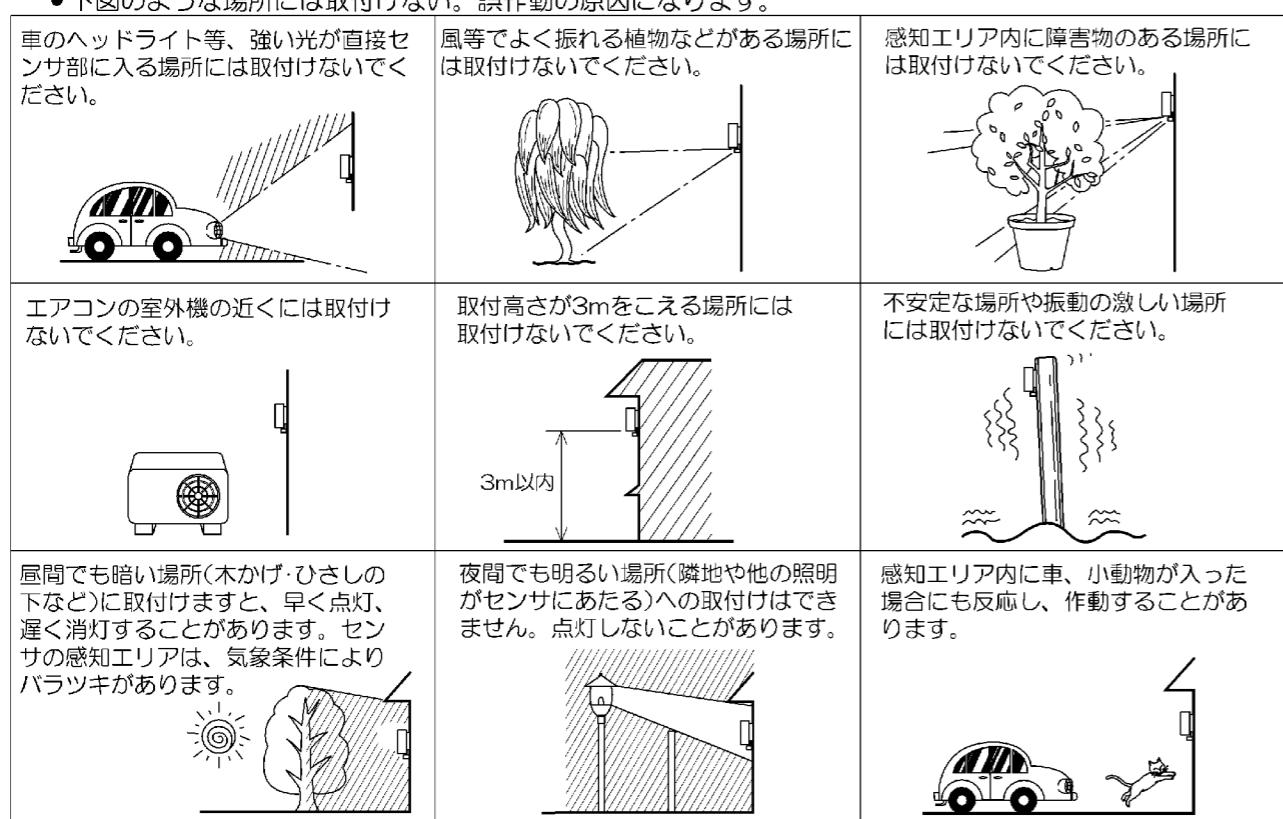
※センサ待機モードで消灯している場合、約0.2Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 設置場所を確認する

- 下図のような場所には取付けない。誤作動の原因になります。



• 無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。

3 器具と他の光源は1m以上離して取付ける

誤作動の原因になります。

4 取付面が十分乾燥していることを確認する

器具や取付面の変色の原因になります。

5 メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの造営物に取付ける場合

器具の金属部分と電気的に接続しないように施工する。

6 自動点滅器(デイライトスイッチなど)との併用はしない

誤作動の原因になります。

7 コーキングする場合

水抜き穴をふさがないでください。浸水による感電の原因になります。

8 壁スイッチを設ける

誤作動時のリセットおよびランプ交換ができません。

〈電源OFF時に表示灯が点灯するタイプの場合〉

壁スイッチの使用は2個(3路配線)までとしてください。壁スイッチを3個以上使用される場合は電源OFF時に表示灯が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。

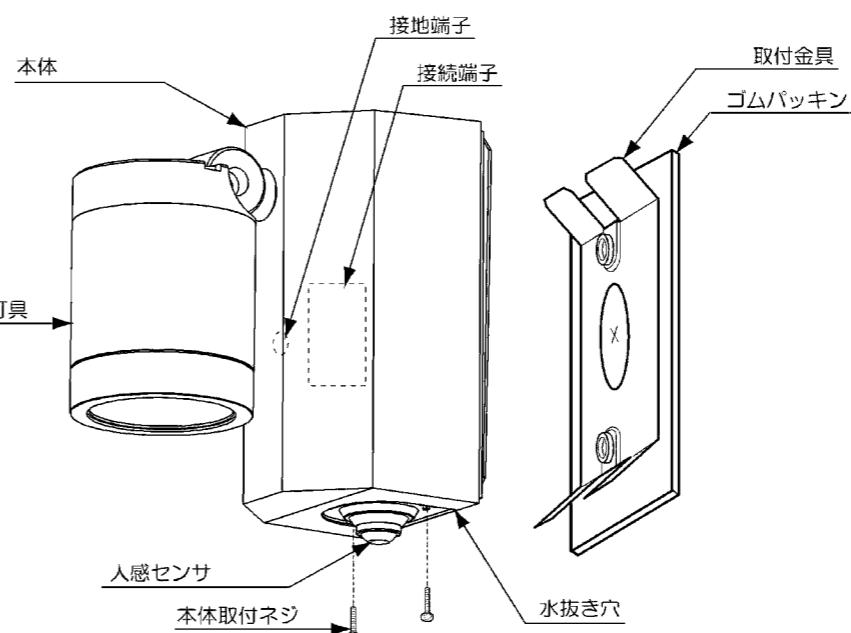
〈電源ON時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合〉

壁スイッチがONの状態でも、器具のランプが消灯している時は、スイッチのランプは点灯しません。

9 ポールへの取付けには専用金具(別売)を使用する

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



〈付属部品〉

取付ネジ···2本

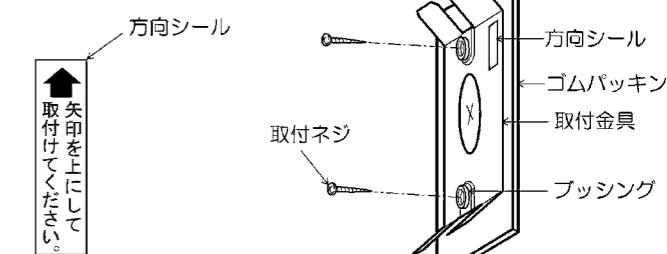
エリアマスク···1個

〈ポール用取付金具(別売)〉

AE43209E

〈ポール用取付バンド(別売)〉

AE43210E··2本入



1 取付金具を取付ける

取付金具を方向シールの指示に従って取付ネジで取付ける。

△警告 方向シールに従って取付けてください。

指定方向以外に取付けた場合は落下の原因になります。

2 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。

はずす時ははずし穴に幅6mmのマイナスドライバーを差し込み、電源線を抜く。

※D種(第三種)接地工事を行なう。

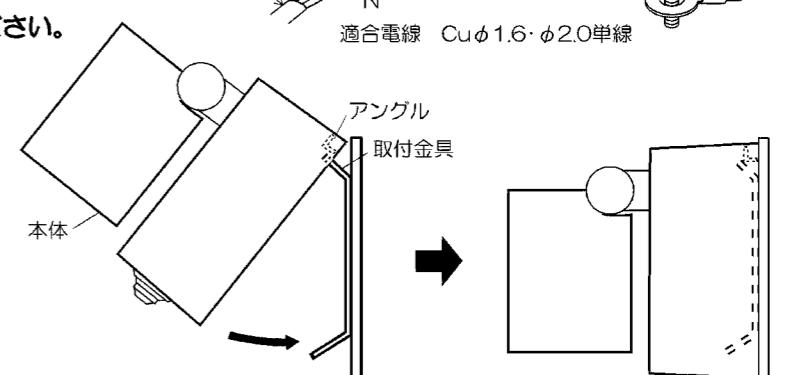
△警告 電源の接続を確実に行ってください。

接続が不完全な場合は火災の原因になります。

3 本体を取付ける

〈壁に取付ける場合〉

本体のアングルを取付金具に引掛けて本体取付ネジで取付ける。



〈ポールに取付ける場合〉

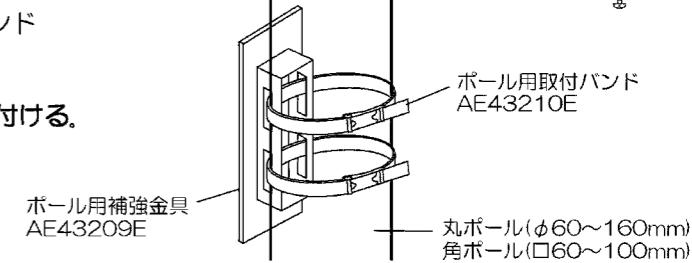
ポール用取付金具(別売)の取付穴にポール用取付バンド(別売)を通して、ポールに確実に締め付けて固定する。

※ポール用取付バンドは必ず2本使用する。

※ポール用取付バンドは斜めにならないように締め付ける。

※仮止めするとゆるめられません。

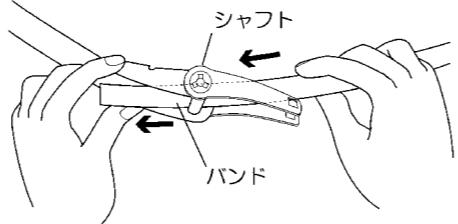
※バンドの取外しはできません。



※ポール用取付バンドの取付方法

①バンドを巻きつける

バンドを取付箇所（ポールなど）に巻付け、先端をシャフトの間（シャフトは2枚構成）に通して、バンドをたるみのない程度に張ります。



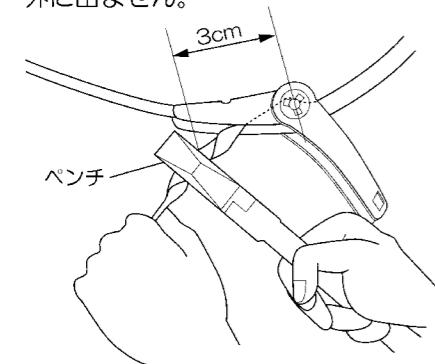
②仮止めする

バンドを適当に張り、ハンドルを90度起こして仮止めします。

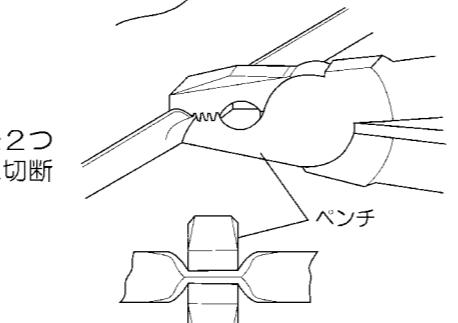


③バンドを切断する

仮止めができたら、バンドの余長をシャフトから3cm程度のところで切断します。バンド端末は外に出ません。

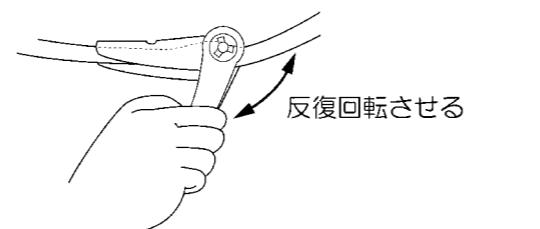


右図のようにバンドを2つ折りにすると、容易に切断できます。



④バンドを締める

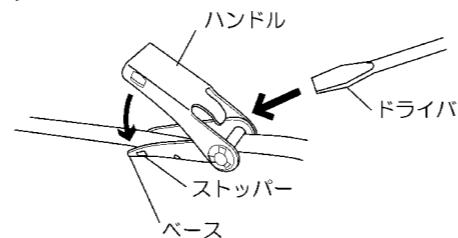
ハンドルを反復回転させる（ラチェット機構なのでバンドを巻き取る）と、バンドはゆるむことなく充分に締ります。



⑤ハンドルを固定する

バンドが充分に締まったところで、ハンドルをベースに重なるまでドライバーで倒して、ストッパーに嵌め込んで完了です。

※一度締め付けを始めると、途中でゆるめる事は出来ません。



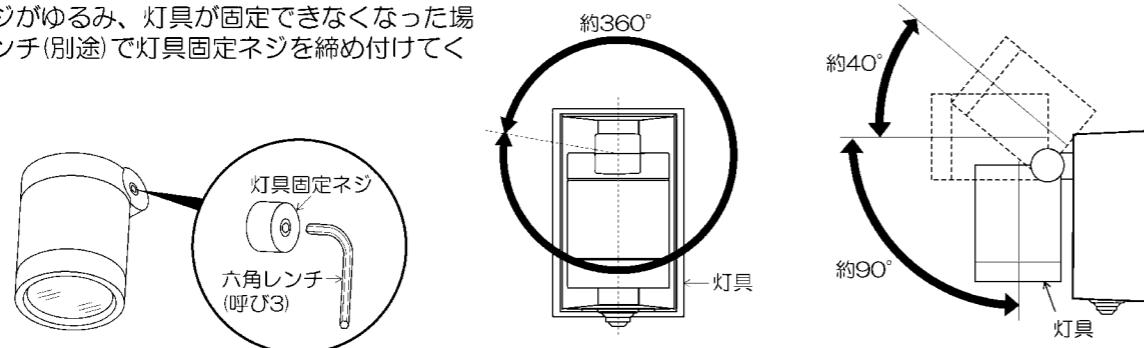
4 点灯の確認を行なう

■照射方向の調節について

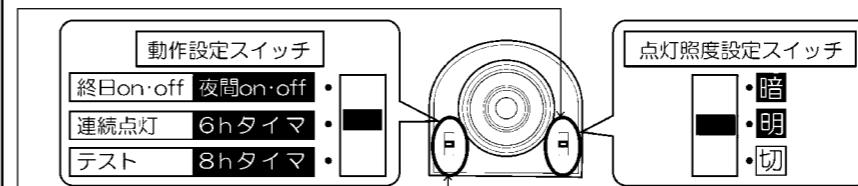
●照射方向を調節する場合は灯具を持って行なってください。

指定範囲以上、無理に動かさないでください。

※灯具固定ネジがゆるみ、灯具が固定できなくなった場合は六角レンチ（別途）で灯具固定ネジを締め付けてください。



■センサの内容



動作設定スイッチ	テスト 8h タイマ			連続点灯 6h タイマ			終日on・off 夜間on・off		
点灯照度設定スイッチ	切	明	暗	切	明	暗	切	明	暗
設定内容	テストモード	8時間 タイマーモード 約45ℓ×で 点灯	8時間 タイマーモード 約15ℓ×で 点灯	連続点灯 モード	6時間 タイマーモード 約45ℓ×で 点灯	6時間 タイマーモード 約15ℓ×で 点灯	終日on・ offモード	夜間on・off モード 約45ℓ×で点 灯できる状態	夜間on・off モード 約15ℓ×で点 灯できる状態

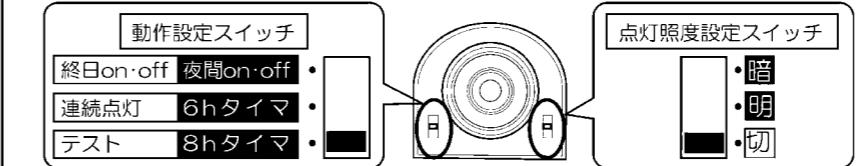
※センサが感知すると、約2分間点灯します。（テストモード、連続点灯モードを除く）点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。
※スイッチの設定を変更した場合、壁スイッチを一旦5秒以上OFFにしてからONにしてください。誤作動する場合があります。

■感知エリアの設定

テストモードでセンサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

テストモード

下図のように点灯照度設定スイッチを「切」に、動作設定スイッチを「テスト」に設定し、センサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。



①電源投入後、約20秒間点灯し、その後は明るくても人を感知するごとに約5秒間点灯します。
結線および負荷の作動を確認できます。

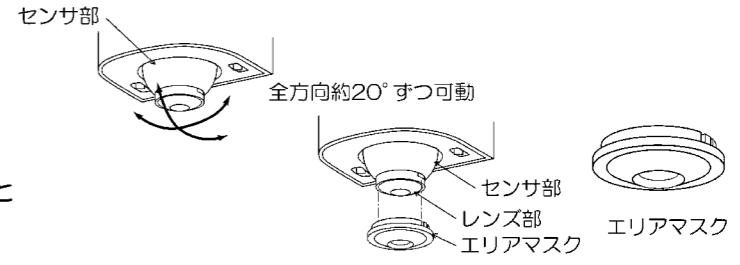
②明るい時（昼間）でも人を感知する毎に約5秒間点灯します。

※点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。



●センサを動かして感知エリアを調整できます。

※調整範囲以上無理に動かさないでください。



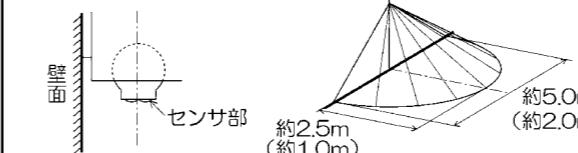
●エリアマスクで感知エリアをせまくできます。

エリアマスクの凸部をセンサの凹部に「カチッ」と音がするまではめ込んでください。

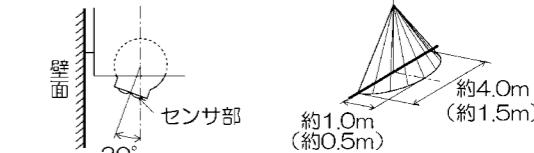
●前方へ20°可動させた場合<高さ 2.0m>



●可動角度0°の場合<高さ 2.0m>



●手前(器具側)へ20°可動させた場合<高さ 2.0m>



※()内はエリアマスク使用時

※センサに向かっての動作では感知しにくい場合があります。（約半分の距離になります。）

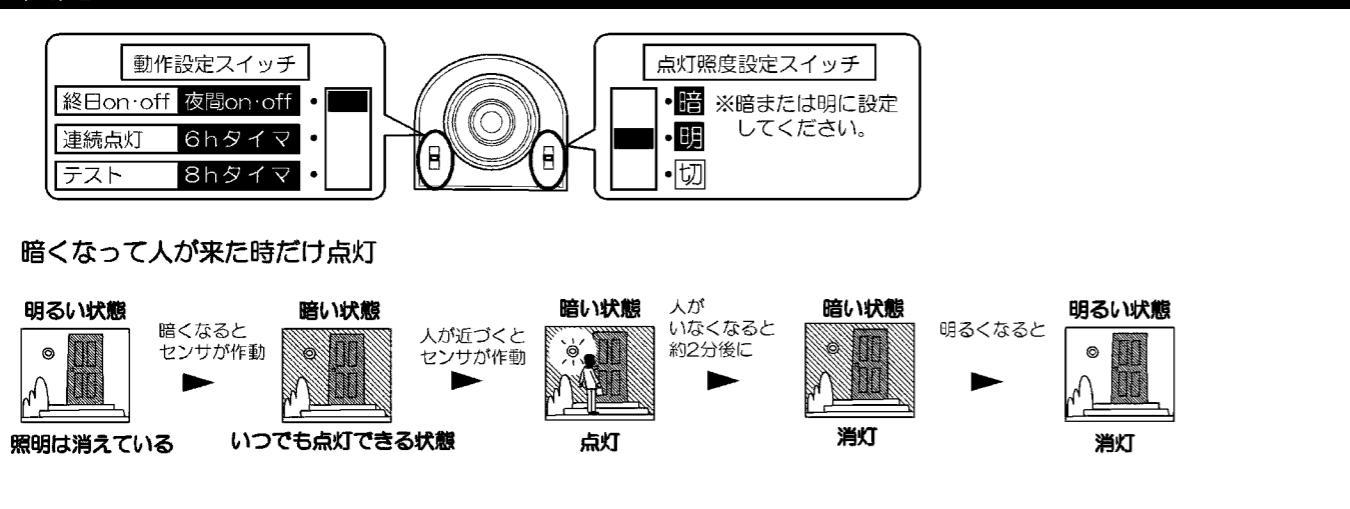
※感知エリアはセードの形状、気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまで目安としてください。

※エリア確認後は必ず■センサの設定を行なってください。

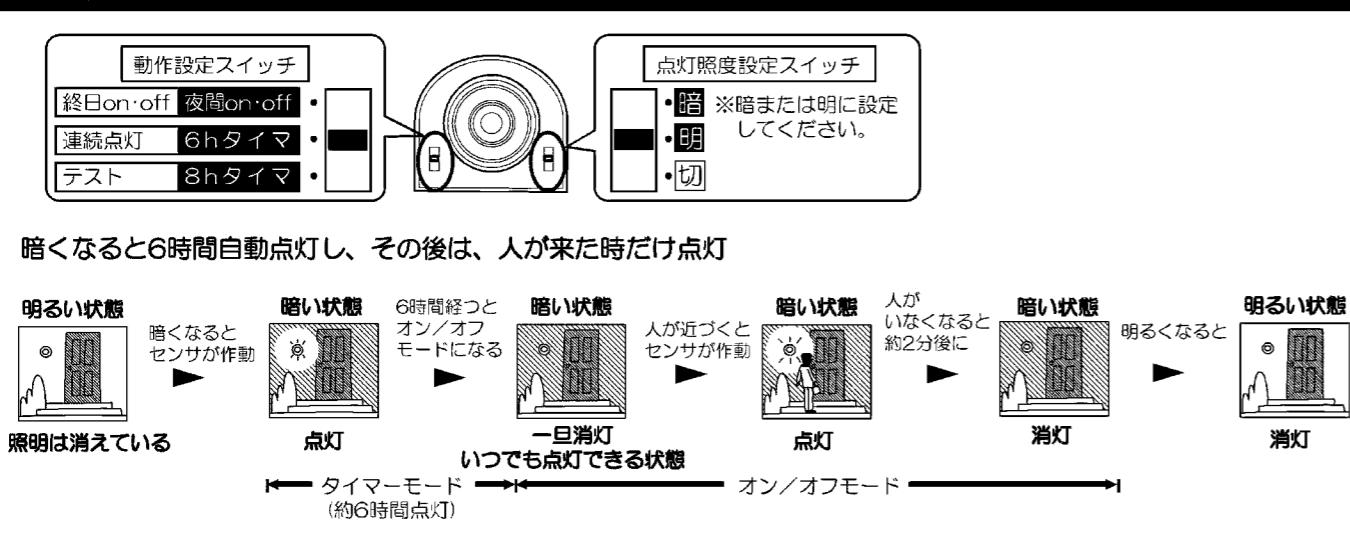
■センサの設定

ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで動作と点灯照度を設定してください。

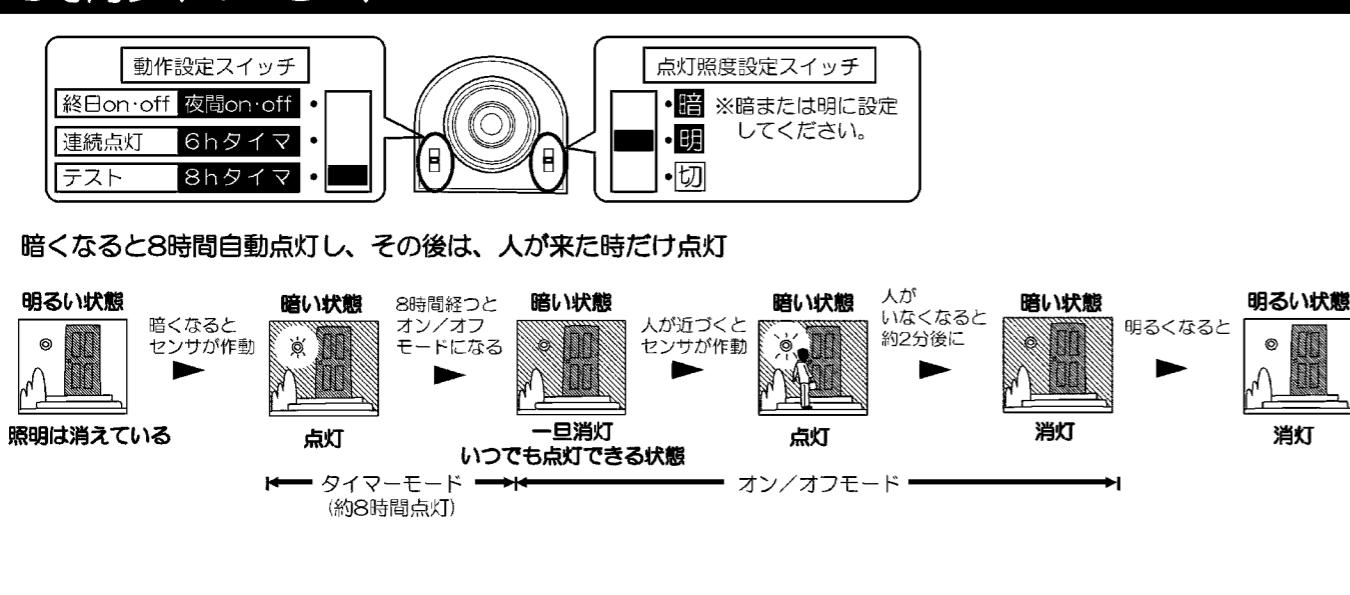
夜間オンオフモード



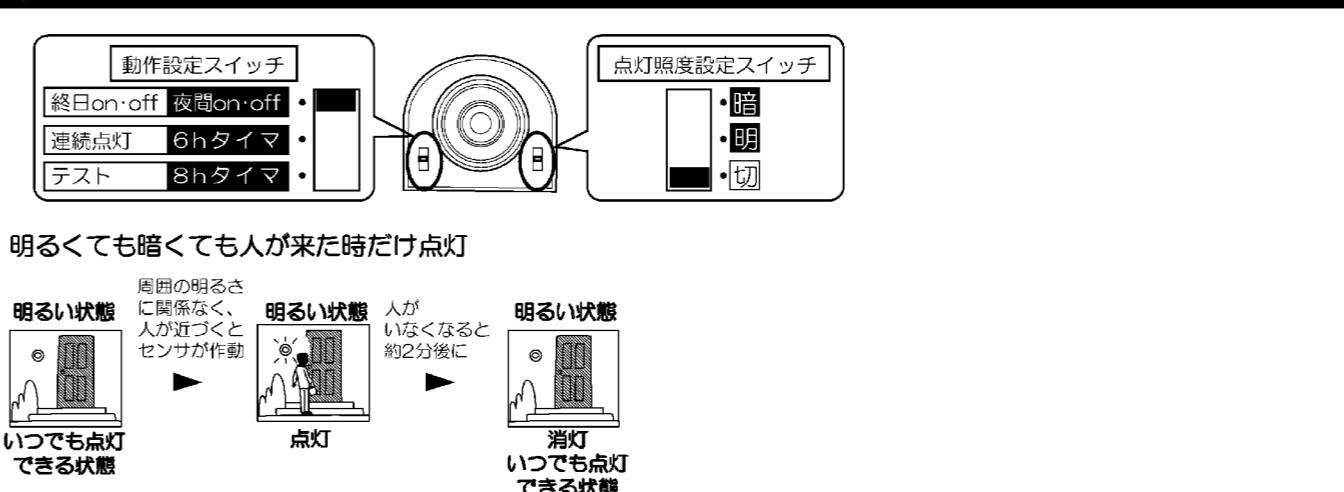
6時間タイマーモード



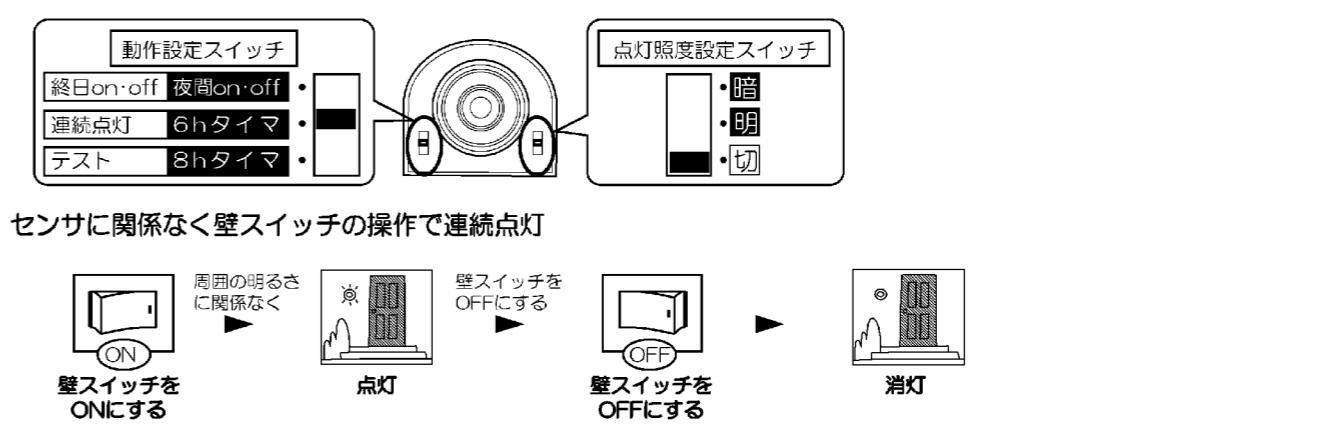
8時間タイマーモード



終日オンオフモード



連続点灯モード



※電源投入後、約20秒間点灯し、その後約40秒間は明るくても人を感知するごとに約5秒間点灯します。

電源投入から約60秒後に一旦点灯し設定したモードになります。

※設定後、連続点灯モード以外は、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

! 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とリモコン受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。

■LEDユニットについて

- LED光源寿命(光束維持時間)は、40,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- LEDの短寿命の懸念があるため、直接日光が当たる時間帯は点灯しないでください。

■器具のお手入れ ▲ 注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。